

科目	化学基礎	学年	第2学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書： 実教出版化学基礎
副教材： カラーノート化学基礎

1 学習の到達目標

教科書の内容を理解し、一般常識レベルの化学の知識を身につける。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
							a	b	c	
前期	物質の構成	物質の構成	物質の成分	・物質を正しく分類し、混合物の分離法を答えることができる。 ・三態を粒子的に理解し、図示できる。	4	中間	○	○	○	
			物質の構成元素				○	○	○	
			物質の三態				○	○	○	
		原子の構造と周期表	原子の構造	・原子の構造を図示できる。 ・電子配置と周期表を正しく結び付けられる。	5		○	○	○	
			電子配置		○		○	○		
			周期表		○		○	○		
		化学結合	イオンとイオン結合	・それぞれの化学結合を理解し、結晶の性質と関連付けられる。	7		○	○	○	
			分子と共有結合				○	○	○	
			金属と金属結合				○	○	○	
		物質の質量	物質の分類	・原子量の意味を理解する。分子量・式量計算、物質質量計算を正しく行える。	9		期末	○	○	○
原子量・分子量・式量	○		○			○				
物質質量	○		○			○				
物質質量の計算・換算	○		○			○				
前期 授業評価										
後期	物質の構成	物質の質量	溶液の濃度	・主な物質の化学式を暗記し、化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式から量的関係を答えることができる。	10	中間	○	○	○	
			化学反応式				○	○	○	
			量的関係				○	○	○	
		酸と塩基	酸と塩基	・主な酸や塩基の化学式と性質、典型的な中和の反応式を書くことができる。 ・中和滴定の器具名や指示薬名を答え、公式から濃度や体積を求めることができる。	11		○	○	○	
			水素イオン濃度とpH				○	○	○	
			中和反応				○	○	○	
			塩の性質				○	○	○	
		中和滴定	中和滴定	・主な酸化剤や還元剤の化学式と性質を答え、半反応式を正しく暗記する。 ・半反応式を組み合わせることでイオン反応式をつくること、量的関係を答えることができる。	12		○	○	○	
			酸化と還元				1	○	○	○
			酸化剤と還元剤					2	○	○
金属の酸化還元反応	(酸化還元反応の利用)	○	○	○						
			○	○	○					
後期 授業評価										

3 評価の観点

暗記すべきことが覚えられたかどうか。/ 平易な計算問題を解くことができたかどうか。これらを試験の得点率によって評価する。また折に触れて提出物を求め、これを学習に取り組む姿勢として評価する。

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	評価基準
知識・技能	定期考查	極めて基本的な内容が理解/暗記できているかを数値化する。
思考・判断・表現	定期考查	教科書の章末問題程度の問題の解答力を数値化する。
主体的態度	小テスト・提出物・レポート等	課題やレポートなどの提出物、授業中の応答の巧拙を数値化する。